

弘前市で毎夏開かれている全国高等学校ファッションデザイン選手権大会(ファッション甲子園)。優勝チームには副賞としてファッションの本場パリでの研修という、この上ない勉強の機会が与えられる。

昨夏優勝した弘前実業高校3年の古川友絵さん(18)、小田桐光紗さん(18)は本県の高校生としては初めて6、12日の日程でパリを訪れ、貴重な経験を重ねた。(今井珠世

F甲子園

パリ研修

…上…

パリのシャルル・ド・ガール空港に着いたのもあるエスモードのバスは7日午後3時すぎ。リ校を訪問。同校の玄成田園祭空港から飛行機で約12時間、ほぼ半日放浪感のある旅。日本時間では深夜になつた。人は同校のスタッフの干渉は、2人は初原和美さんの案内で授めての海外に興味津々、充実した設備や自向かうタクシーの中から習中の学生の様子など街を眺め「街も人も見学した。おしなべてお店もいろいろと早速パリの風景を自ら感じ付けた。材がきつしり詰まった素材室。「学生は素材を自由に扱って、必

多彩な素材に興味津々



エスモードパリ校には日本人学生も。カリキュラムや作品について熱心に話を聞く生徒ら

を歩き回り、パリの歴史や文化、生活の様子を心に刻み込んだ。

エスモード校を見学

困気も変わる。その違いを発見することがインスピレーションにつながる」と助言した。

「パリの街はすべてが勉強になる。しっかりと吸収して帰って」というホールさんの言葉にうなずく2人は、その言葉通り、滞在中は有名なルーヴル美術館やベルサイユ宮殿、凱旋門にノートルダム大聖堂、そしてスーパーマーケットや百貨店、大衆食堂と縦横無尽に街を歩き回り、パリの歴史や文化、生活の様子を心に刻み込んだ。

要なら切り取っていく。ルンガさまさま素材を評。この「できる」という材を見せてもらい、2人の昼食を楽しみながら説明に「えー!」と仰人は身を乗り出してじら懇談。ホールさんは「すべてを見ること。物を天する2人。パリに、つくりと見入っている。来たらたしが素材のた。」

「その後は同校デザイン見て「若いのに、素晴らしい技術を持っている。人の服装も券